

2015年開催 紀の国わかやま国体
県民運動アクションプログラム(手引き)



平成23年10月

第70回国民体育大会和歌山県準備委員会

目次

県民運動アクションプログラム

県民運動アクションプログラムについて	1
基本目標	1
県民運動の推進	1

1 みんなの国体

(1) 県民総参加のみんなの国体にしよう	2～3
(2) 国体運営ボランティアとして国体に参加しよう	4
(3) 国体募金や企業協賛で国体に参加しよう	5
(4) まちを花や緑でいっぱいにしてしよう	6
(5) 競技会場、道路、河川、海岸などをきれいにしよう	7

2 躍動する国体

(1) スポーツ・レクリエーションイベントに参加しよう	8
(2) 健康・体づくりをしよう	9

3 ぬくもりのある国体

(1) おもてなし運動を普及させよう	10
(2) 国体の開催と和歌山の魅力を全国に発信しよう	11

(参考資料)

第70回国民体育大会県民運動基本方針	12
第70回国民体育大会県民運動基本計画	13～14

県民運動アクションプログラム（手引き）

県民運動アクションプログラムについて

平成27年に開催する紀の国わかやま国体は、男女総合優勝（天皇杯）獲得を目標に掲げ、スポーツを「する」「みる」「支える（育てる）」といったスポーツとの関わり合いを通じて、県民が夢と感動を共有し、交流の輪を広げるとともに、生きがいのある地域の形成に繋げ、和歌山を元気にすることを目標としています。

さらに、スポーツの振興や活力に満ちたふるさとづくりに寄与するとともに、大勢の選手をおもてなしの心でお迎えし、いつまでも心に残るまごころのこもった大会を実現することで、和歌山の魅力を全国に発信していくことをめざしています。

そのためには、県・市町村、競技団体、企業、学校、NPO、さらには県民一人ひとりのエネルギーを結集し、国体の開催準備や大会運営を行うとともに、県内各地で展開する創意工夫を凝らした県民運動を通じて、地域の活性化が図られることが重要となります。

県民運動アクションプログラムは、県民総参加による紀の国わかやま国体の開催をめざし、すべての県民が自発的かつ積極的に参加できるよう、多様な機会を創出し、運動を全県的な取組として推進するための手引きとして策定するものです。

すべての県民に、本アクションプログラムにおける取組へご参加・ご参画いただき、夢と感動を共有して、互いの心に強い絆を築き、「未来に羽ばたく元気な和歌山」の実現に繋げていきましょう。

県民運動の基本目標

- みんなの国体
県民のアイデアとエネルギーを活かし、県民全員が参加するみんなの国体にしよう
- 躍動する国体
スポーツとの様々な関わりを通じて、心豊かでたくましい人と活力に満ちた地域をはぐくむことで、人と地域が躍動する国体にしよう
- ぬくもりのある国体
来県者をおもてなしの心で迎え、和歌山の魅力を伝えることで、和歌山のぬくもりと感動が詰まった国体にしよう

県民運動の推進

- 県民運動は、県民一人ひとりの自発的な活動を基本とします。
- 県民の創意工夫を発揮しながら、県民一人一役の仕組みとなるよう企画・推進します。
- 学校、企業、各種団体等は、県民と協力し、それぞれの特徴を活かした運動を行います。
- 県準備（実行）委員会と市町村準備（実行）委員会は、県民運動の推進組織としての役割を果たし、相互に情報交換を行い、連携しながら県民運動を展開していきます。

1. みんなの国体

(1) 県民総参加のみんなの国体にしよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体開催に向け、県民のアイデアとエネルギーを集結することで、喜びや感動を分かち合える県民総参加の取組を展開します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 県民歌の普及

- ・ 県ホームページから楽譜や音楽ファイルを配信
- ・ 県民を対象としたイベントやスポーツ大会等での県民歌斉唱を促進

② 写真や作文・絵画コンクールの開催

- ・ 国体開催に向け、児童・生徒を対象として、スポーツや国体県民運動に関する作文・絵画のコンクールを実施
- ・ 国体開催年には、文部科学省や公益財団法人日本体育協会、NPO法人日本スポーツ芸術協会とともに、「全国スポーツ写真コンクール」を実施

③ 公共交通機関等の利用促進

- ・ 自動車の利用を見直し、公共交通機関や自転車、徒歩等への転換を促す「ノーマイカーデー運動」への県民参加を促進するとともに、和歌山県ノーマイカーデー運動推進協議会によるノーマイカーデー運動へ参加する事業所を拡大

④ 交通安全運動の推進

- ・ 春と秋の全国交通安全運動期間に加え、夏と冬に「わかやま交通安全運動」を実施するとともに、毎月1日を「子ども安全の日」、毎月25日を「交通事故ゼロの日」として県内一斉交通安全指導を実施

⑤ バリアフリーのまちづくりを推進

- ・ 和歌山県福祉のまちづくり条例に沿った施設整備を推進するとともに、民間事業者へ誰もが利用しやすい施設整備の呼びかけを強化

■ 県民みんなの取組

- ・ 県民歌を覚えてみんなで歌おう
- ・ 写真や作文・絵画コンクールへ参加しよう
- ・ 公共交通機関等の利用に努め、ノーマイカーデー運動に参加しよう
- ・ 交通ルールを遵守し、正しい交通マナーの実践を習慣づけよう
- ・ だれもが暮らしやすいまちづくりを推進するため、施設のバリアフリー化を進め、お互いを思いやる心を持とう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 県民歌の普及	→ 県民歌の普及			→
② 写真や作文・絵画コンクールの開催	→★ 絵画コンクール	→★ 絵画コンクール	→★ 作文コンクール	→★ 全国スポーツ 写真コンクール
③ 公共交通機関等の利用促進	→ ノーマイカーデー運動の推進			→
④ 交通安全運動の推進	→ 全国交通安全運動、わかやま交通安全運動の実施			→
⑤ バリアフリーのまちづくりを推進	→ 福祉のまちづくり推進			→

(2) 国体運営ボランティアとして国体に参加しよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体の総合開・閉会式や競技会を支えるボランティアとして多くの県民の方々に参加していただくことで、スポーツによる躍動や歓喜を共有し、県民の絆を深めるとともに、紀の国わかやま国体が人情あふれる心のこもった大会となることをめざします。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 国体運営ボランティアの募集

- ・ 募集要項を作成し、総合開・閉会式や競技会場の運営ボランティアをはじめ、手話・要約筆記等の専門ボランティア等を募集

② 国体運営ボランティアの養成、活動実践

- ・ ボランティア活動マニュアルやユニフォーム等の作成・配布
- ・ ボランティア講習会の開催
- ・ リハーサル大会、本大会での活動実践

③ 式典等の国体行事への参加

- ・ 総合開・閉会式のオープニングプログラムなど、国体行事で郷土芸能やダンスなどに参加いただける方を、子どもから高齢者まで幅広く募集

■ 県民みんなの取組

- ・ 国体運営ボランティアとして国体に参加しよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 国体運営ボランティアの募集	ボランティア募集要項作成	運営ボランティア等の募集	総合開・閉会式ボランティアの募集	
② 国体運営ボランティアの養成、活動実践		ボランティア講習会の開催	リハーサル大会ボランティア	本大会ボランティア
③ 式典等の国体行事への参加			国体行事参加者の募集	本大会演技披露

(3) 国体募金や企業協賛で国体に参加しよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体及び紀の国わかやま大会の開催気運を高め、両大会の花いっぱい運動などの県民運動やボランティア活動などの運営経費に活用するため、広く県民の支援と協力を得て国体募金を推進するとともに、両大会を支えていただく協賛企業を募集します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 募金活動の推進

- ・ 県内各地の公共施設等に募金箱を設置
- ・ 街頭募金やイベント募金等の実施
- ・ ポスター、広報紙(誌)、ホームページ等による啓発

② 企業協賛制度の構築・推進

- ・ 県準備委員会において、両大会の成功に向け、企業・団体に両大会を支えていただく企業協賛制度を構築し、協賛金や物品提供等の支援を募集

■ 県民みんなの取組

- ・ 募金や企業協賛で両大会に参加しよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 募金活動の推進	 募金箱の設置、募金の啓発 街頭募金、イベント募金の実施			
② 企業協賛制度の構築・推進	 企業協賛 制度の制定		企業協賛の募集・推進	

(4) まちを花や緑でいっぱいになろう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体の総合開・閉会式会場や競技会場、主要道路・駅・空港・高速道路SAなどを花や緑でいっぱいにして来県者をお迎えします。

また、花や緑を愛する心を育てるとともに、まちが花や緑でいっぱいの豊かな環境づくりを推進します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 国体推奨花の選定

- ・ 国体推奨花の試験栽培、本栽培実施方法の検討(農業関係校、小中学校等での苗の栽培、育成等)
- ・ 本県の特徴ある花を国体推奨花に選定

② 花づくりの促進

- ・ 花づくり(国体推奨花の育て方)ガイドブックの作成・配布
- ・ 国体推奨花の種や苗の配布
- ・ 花づくり教室の開催、花づくりアドバイザーの派遣
- ・ NPO 等花づくり団体への花づくりの呼びかけを実施
- ・ 学校において児童・生徒が花を育成

③ 総合開・閉会式会場及び競技会場等の花かざり・緑化

- ・ 花ポットに貼付するメッセージシール等の作成
- ・ 紀州材を使ったプランターやプランターカバーの手配
- ・ 県内の種子から育苗した緑化苗木による、国体競技会場等での緑化の推進

■ 県民みんなの取組

- ・ 花づくり教室や花育てコンテストに参加しよう
- ・ 国体推奨花を育て、まちを花でかざろう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 国体推奨花の選定	→★ 推奨花決定	→ 試験栽培実施		
② 花づくりの促進	→ 花・苗、ガイドブックの配布	→ 花づくり教室の開催、 アドバイザー派遣	→ 花苗の育成	
③ 総合開・閉会式会場及び競技会場等の花かざり・緑化		→ ポット用シールの作成、配布 プランター等の手配		→★ かざりつけの実施

(5) 競技会場、道路、河川、海岸などをきれいにしよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体の競技会場や道路、海岸、河川等をごみ一つない状態にして来県者をお迎えします。

また、地域の環境美化運動を定着させ、クリーンな環境づくりを推進します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

- ① 県内一斉国体クリーンアップ大作戦の実施
 - ・ 県内一斉国体クリーンアップデーへの参加促進
 - ・ 国体開催直前でのクリーンアップ大作戦(総合開・閉会式会場及び競技会場を中心に展開)
 - ・ クリーンアップ県民運動参加団体へ、国体マスコット入り清掃用具等の配布
- ② ごみ分別運動の展開
 - ・ 総合開・閉会式会場及び競技会場へ分別用ゴミ箱の設置
 - ・ 和歌山県分別収集促進計画に基づき、資源の有効利用を促進
- ③ 既存の環境美化運動(道路、河川、海岸、自然公園等)の推進
 - ・ 国体マスコットの参加等による運動の推進
 - ・ 地域住民等の直接参加による、わかやま道路パートナー事業の推進
 - ・ 自治会等の団体により河川清掃等を行う、スマイルリバー活動の支援
 - ・ 海岸・港湾・漁港の美化啓発と清掃活動の実施
 - ・ 放置されたプレジャーボートや不法占拠物件等の撤去等に対する各種施策の推進
 - ・ 国体会場周辺自然公園の清掃及び環境保全事業の推進
- ④ 環境学習の推進
 - ・ 地域やNPO等と協働し、環境アドバイザーの派遣等で環境学習の場を提供

■ 県民みんなの取組

- ・ 県内一斉クリーンアップに参加しよう
- ・ ごみの分別を徹底しよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 県内一斉国体クリーンアップ大作戦の実施		一斉大清掃の実施		開催直前大清掃
② ごみ分別運動の展開		分別収集、資源の有効利用の促進		会場に分別用ゴミ箱設置
③ 既存の環境美化運動(道路、河川、海岸、自然公園等)の推進		各地で実施される環境美化運動の推進		
④ 環境学習の推進		環境アドバイザーの派遣		

2 躍動する国体

(1) スポーツ・レクリエーションイベントに参加しよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体開催を契機として県民のスポーツ活動への参加に対する気運醸成を図り、県民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「支える(育てる)」ための環境整備をより一層充実させ、スポーツ活動に親しめるよう取り組みます。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① スポーツ、レクリエーションイベントへの参加促進

- ・ 地域住民が身近にスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブや、子どもたちが地域社会で幅広いスポーツ活動を行っているスポーツ少年団等の育成・支援
- ・ 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の開催

② わがまちスポーツの普及

- ・ 全市町村において、県、市町村、競技団体等が連携し、正式競技やデモンストレーションスポーツ等の体験会を実施
- ・ スポーツを通じて地域コミュニティや団体間の連携を強化

③ 国体ダンスの習得・普及

- ・ インストラクターの派遣や DVD 貸し出しによる普及

④ 学校における児童・生徒の体力アップへの取組強化

- ・ 児童の体力向上を図るため市町村教育委員会で学校の体力アッププランを作成
- ・ きのくにチャレンジランキング(※1)を通じ、さまざまな運動への取り組みを推進

⑤ 障害者スポーツの普及・啓発

- ・ 障害者スポーツ教室の開催、県HPによる情報発信等

■ 県民みんなの取組

- ・ 地域で開催されるスポーツやレクリエーションイベント、国体ダンスに参加しよう
- ・ 障害者スポーツへの理解を深めよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① スポーツ・レクリエーションイベントへの参加促進	総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の育成・支援 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の開催			
② わがまちスポーツの普及	競技体験会の実施、地域コミュニティの強化等			
③ 国体ダンスの習得・普及		ダンスインストラクターの派遣、 DVD貸し出し、披露・実践		★ 総合開・閉会式 でのダンス披露
④ 学校における児童・生徒の体力アップへの取組強化		体力アップの取組推進		
⑤ 障害者スポーツの普及・啓発		障害者スポーツ教室の開催等		

※1 県内の小学生などが取り組んだ運動の記録をホームページで公表し、運動する楽しさや達成感を味わってもらう事業

(2) 健康・体力づくりをしよう

■ 趣 旨

心豊かでたくましい人を育み、活力に満ちた地域をつくるため、紀の国わかやま国体開催に向けて、県民が心身の健康・体力づくりを実践します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 健康・体力づくりへの取組促進

- ・ 「紀の国わかやま 1 万人健康リレーウォーク」(※2)の開催
- ・ 県民への積極的な健診(検診)受診の呼びかけを実施
- ・ 公的施設における禁煙の取組を推進
- ・ 老人クラブへのスポーツ大会参加呼びかけ等を実施

② バランスの良い食事を心がけ、健全な食生活の実践を推進

- ・ 県産食材を使い、栄養バランスのとれたメニュー、レシピの作成・普及
- ・ 食育推進フェア等により、食育を通じ県民の元気を増進
- ・ 県民の食への関心を高めるため、「わかやま食の安全サポーター」を養成
- ・ 学校給食における地場産物の活用率の向上

■ 県民みんなの取組

- ・ 健康づくり、体力づくりに取り組もう
- ・ バランスの良い食事を心がけよう
- ・ 食育について考えよう
- ・ 健康診断、がん検診等を積極的に受けよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 健康・体力づくりへの取組促進	紀の国わかやま1万人健康リレーウォーク 健診(検診)受診や禁煙の呼びかけ			
② バランスの良い食事を心がけ、健全な食生活の実践を推進	食育推進フェアの実施 学校給食の地場産物活用率向上			

※2 県内を縦横断する健康リレーウォークを実施し、県民の健康づくりを推進するとともに、国体開催の気運醸成を図る事業

3 ぬくもりのある国体

(1) おもてなし運動を普及させよう

■ 趣 旨

全国から和歌山を訪れる方々を温かくもてなし、「来てよかった」、「また来たい」、と
 思っていただけのように、心のこもった歓迎を行います。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

- ① あいさつ運動、おもてなし運動の普及
 - ・ 観光事業者や公共交通機関職員等への接遇マナーや言葉遣いなどのおもてなし研修を実施
- ② 競技会場等で選手を応援
 - ・ 学校等の単位で応援グッズ、応援方法を考え、特色ある選手応援を実施
 - ・ 各都道府県ごとの応援団を編成し、総合開会式等で来県した選手を応援
 - ・ 県内各種団体HPで和歌山県選手団のメンバーを紹介し、選手を応援
- ③ 手作りののぼりや案内板の作成
 - ・ 学校等と連携し、各競技会場等に手作りの各都道府県応援のぼりや看板を設置
- ④ 民泊^(※3)でおもてなし
 - ・ ウェルカムパーティー等を開催し、全国から訪れる選手と地域が交流

■ 県民みんなの取組

- ・ おもてなしの心を育てよう
- ・ 競技会場等で国体選手を応援しよう
- ・ 手作りののぼり等で大会を盛り上げよう
- ・ 民泊で選手を温かくもてなそう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① あいさつ運動・おもてなし運動の普及		おもてなし研修等の実施		
② 競技会場等で選手を応援			応援グッズ作成、都道府県応援団の編成	大会会場応援編成 HP作成
③ 手作りののぼりや案内板の作成			のぼりや案内板の作成、設置	
④ 民泊でおもてなし		民泊家庭の選定、決定	選手の歓迎準備	民泊の実施

※3 選手や監督が一般家庭に宿泊すること

(2) 国体の開催と和歌山の魅力を全国に発信しよう

■ 趣 旨

紀の国わかやま国体の開催情報を発信するとともに、豊かな自然や歴史、観光名所や特産品など、多くの魅力にあふれた和歌山を全国に発信します。

■ 県・市町村や県準備(実行)委員会の取組

① 和歌山の特産品や郷土料理を紹介

- ・ わかやま産品応援店を活用した、郷土料理等の提供やPR
- ・ 国体開催を契機とした、県産品の販売強化
- ・ 「プレミアム和歌山」推奨品のPRイベント等を通じ、特産品及び国体のPRを実施

② 和歌山の魅力を全国で紹介

- ・ 高野・熊野の世界遺産や温泉、歴史、四季折々の魅力等で和歌山をPR
- ・ 和歌山の魅力を伝えるため、競技会場等において観光ブースを出展
- ・ 和歌山観光情報サイトを活用し、観光情報を発信
- ・ 総合開・閉会式会場及び競技会場において、選手団・観客に対しおもてなしを実施

③ 紀の国わかやま国体を発信

- ・ ブログやツイッターなど、新しいメディアを活用して情報を発信
- ・ 国体ホームページや新聞、テレビ、ラジオ等の各種メディアを活用し、国体の魅力をPR
- ・ 国体への応援メッセージを募集、ホームページで紹介
- ・ 国体決定記念イベントや各種啓発イベントを実施し、国体をPR

■ 県民みんなの取組

- ・ 和歌山の豊かな自然や歴史、観光名所などのすばらしさをもっと知ろう
- ・ 和歌山の魅力や国体をPRしよう

■ 実施スケジュール

	H24	H25	H26	H27
① 和歌山の特産品や郷土料理を紹介			国体関連商品の開発	★ 来場者に対する物産PR
② 和歌山の魅力を全国で紹介		世界遺産、温泉、パンダなど和歌山の魅力を全国にPR		★ 大会会場での和歌山PR
③ 紀の国わかやま国体を発信	★ 国体決定記念イベント	応援メッセージの募集	ホームページ等による国体の魅力発信	

參考資料

第70回国民体育大会県民運動基本方針

平成22年6月10日

第4回常任委員会決定

1 目的

第70回国民体育大会の県民運動は、県民一人ひとりが第70回国民体育大会に自発的に参加できる仕組みを構築し、県民総参加による“和歌山らしい”国体の実現を目指します。

また、県内各地で展開する創意工夫を凝らした運動が、国体後においても地域に定着し、地域の活性化が図られることで、未来に羽ばたく元気な和歌山づくりに寄与することを目的とします。

2 基本目標

- (1) みんなの国体
- (2) 躍動する国体
- (3) ぬくもりのある国体

3 県民運動推進組織

- (1) 県は、全県的に県民運動を推進するために、第70回国民体育大会和歌山県準備（実行）委員会を推進組織とします。
- (2) 市町村は、それぞれの地域で市町村民運動を推進するために、第70回国民体育大会市町村準備（実行）委員会等を推進組織とします。

4 県民運動の進め方

- (1) 県民運動は、県民一人ひとりの自発的な活動を基本とします。
- (2) 学校、企業、各種団体等は、県民と協力し、それぞれの特徴を活かした運動を行います。
- (3) 県準備（実行）委員会は、全県的な計画を定め、各種啓発活動を行うとともに、各種団体や市町村等と連携を図り、県民運動や市町村民運動を支援します。
- (4) 市町村準備（実行）委員会等は、地域の特性に応じた基本方針等を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町村民運動を推進します。

第70回国民体育大会県民運動基本計画

平成23年6月7日
第5回常任委員会決定

第70回国民体育大会県民運動基本方針に基づき、県民の自発的な参加、実践的な運動を促すため、以下のような具体的取組及びスケジュールを提示し、全県的な県民運動の盛り上げを計画的かつ円滑に推進する。

1 具体的取組

(1) みんなの国体

県民のアイデアとエネルギーを活かし、県民全員が参加するみんなの国体にしよう

- ・県民歌を普及させよう
- ・国体運営ボランティアとして国体に参加しよう
- ・写真や作文・絵画コンクールに参加しよう
- ・国体募金や企業協賛で国体に参加しよう
- ・まちを花や緑でいっぱいになろう
- ・競技会場、道路、河川、海岸などをきれいにしよう
- ・環境について学ぼう
- ・公共交通機関を利用しよう
- ・バリアフリーのまちづくりを進めよう
- ・交通安全を心がけよう

(2) 躍動する国体

スポーツとの様々な関わりを通じて、心豊かでたくましい人と活力に満ちた地域をはぐくむことで、人と地域が躍動する国体にしよう

- ・健康、体力づくりをしよう
- ・スポーツ、レクリエーションイベントに参加しよう
- ・わがまちスポーツを普及させよう
- ・バランスの良い食事を心がけよう
- ・地産地消を推進しよう

(3) ぬくもりのある国体

来県者をおもてなしの心で迎え、和歌山の魅力を伝えることで、和歌山のぬくもりと感動が詰まった国体にしよう

- ・あいさつ運動、おもてなし運動を普及させよう
- ・競技会場で選手を応援しよう
- ・手作りのぼりや案内板をつくろう
- ・和歌山の特産品や郷土料理を全国に紹介しよう
- ・ホームページや情報誌などでわかやまの魅力を全国に紹介しよう
- ・ホームページや情報誌などで紀の国わかやま国体を発信しよう

2 推進スケジュール

年 度	事 業 内 容
平成 2 1 年度	・国体募金の開始
平成 2 2 年度 (開催内定)	・「県民運動基本方針」決定
平成 2 3 年度	・「県民運動基本計画」の策定 ・「県民運動アクションプログラム(手引き)」の策定
平成 2 4 年度 (開催決定)	・企業協賛制度の開始 ・開催決定記念イベントの実施
平成 2 5 年度	・大会運営ボランティアの募集・登録の開始
平成 2 6 年度	・大会運営ボランティアの研修の開始 ・リハーサル大会での実践活動
平成 2 7 年度 (開催年)	・本大会での実践活動